

澄み切った歌声を披露した愛媛大=いずれも青森市文化会館、金川雄策撮影



さわやかな歌声で聴衆を魅了した歌姫



愛媛大祈りの金

青森市文化会館で19日に始まった第64回全日本合唱コンクール全国大会(全日本合唱連盟、朝日新聞社主催)で、四国支部代表として県内から2団体が出場。大学部門の愛媛大合唱団は金賞を、一般部門A(8〜32人)の女声合唱団「歌姫」は銅賞を受賞した。

歌姫は銅賞

長の高橋和洋さん(20)は「震災の起きた今年、祈りの思いを曲に込められた」と話した。

愛媛大は3年ぶりの全国大会出場。46人の混声合唱で、自由曲は「めでたし、海の星」をラテン語で歌った。

歌姫は結成から19年目で、全国大会には昨年に続き3回目の出場。21人の女声合唱で、自由曲にはオルバイン・ジェルジ作曲の宗教曲から3曲を選んだ。

静かな女声の掛け合いに始まり、男声の荘厳な重低音を重ねながら音量とテンポを上げ、大きなハーモニ―へと昇華していく場面を丁寧にこなしした。

たたみかけるように転調が重なる難曲もあったが、和音を崩さずにきっちり歌い切り、会場に穏やかな余韻を残した。

指揮者の国兼宏和さん(21)は「音

で楽しもうと皆で言い合って臨んだ。気持ち良く歌えた」と笑顔を見せた。

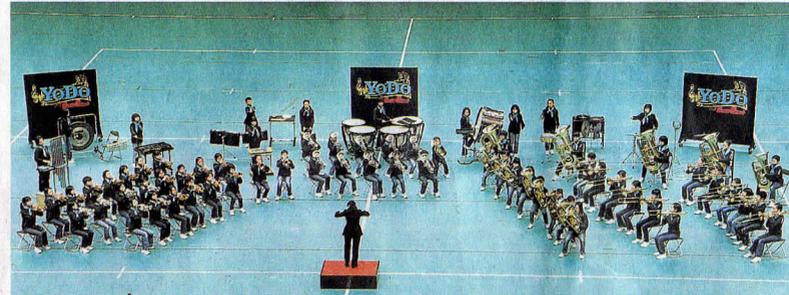
全日本合唱コン

全日本小学校バンドフェス

大阪市の大阪城ホールで19日に開かれた第30回全日本小学校バンドフェスティバル(全日本吹奏楽連盟、朝日新聞社主催)で、四国支部代表として出場した松山市立余土の金管バンド部は銀賞を受けた。

全国大会出場は3年連続3回目。スミス作曲の「伝説のアイランド」を71人の大人数で披露した。荘厳なオープニングから入り、全体に打楽器を利かせた構成。「金管バンド部」を名乗るだけに管楽器も皆しっかり吹けており、曲にマッチした演奏ぶり。終わると場内から大きな拍手がわいた。

指揮の河本則子先生(50)は「ドラマチックに自分たちで演奏を作ろう、ということを中心にけました」。部長の福岡時織さん(6年)は「みんなで心を一つにして、楽しく演奏できました」と話していた。



心一つ 余土(松山)が銀

演奏を披露する松山市立余土=大阪市の大阪城ホール、中里友紀撮影

バンドフェスティバルと合唱コンクールの写真を販売します。朝日新聞フォトアーカイブ(htt://photoarchives.asahi.com/電話03・6440・7683)平日午前10時〜午後6時)。